

学類の枠を超えた全学生に開かれた特修プログラム(副専攻)



企画実施イメージ



地域の廃校等を学生の交流・研修施設として開放



講義、グループワーク、交流イベントの開催



地域に出かけ、畑仕事や販売などの体験

むらの大学



教育研究における地域志向性の向上

- 地域志向の教育や研究のグッドプラクティスを支援。地域課題を学び、ふくしまでしか学べないものを学生に提供。
- 教育による地域志向的科目を5年でカリキュラム全体の4割以上をめざす。

カリキュラムの地域開放科目の拡大

- 「地域に開かれた大学」として、全学類のカリキュラムの地域開放科目の拡大をめざし、COC完了時には現状の2倍以上をめざす。

地域における循環型人材育成のモデル形成

- 原発事故によって避難を余儀なくされている双葉八町村(連携協定締結済)をはじめ被災自治体と連携し、初等教育から高等教育まで連携した循環型人材育成に取り組む。



畑仕事体験



放射能測定体験



放射能マップづくり体験



販売体験